

「ヤングケアラーサポートクラス」を実施しました

12月1日(木)の6校時、ヤングケアラーサポートクラスを実施しました。ヤングケアラーに関する理解の促進やヤングケアラーである生徒の支援の充実を図るために、元ヤングケアラー等との相談や交流会を行いました。また、学校がヤングケアラーに対し適切な支援ができるよう、学校と福祉機関等の多機関が連携したヤングケアラー支援体制を構築する目的もありました。

ヤングケアラーは、ケアに関する悩みを話せる相手が家族や友人等に限定されているなど、その存在が顕在化せず、必要な支援が届かない場合や、将来の見通しがもてない可能性があります。令和2年度に制定された「埼玉県ケアラー支援計画」には、ヤングケアラーを信頼して見守ってくれる大人を増やすこと、困った時に相談できる場の整備や関係する支援機関の人材育成の必要性が示されています。

立正大学社会福祉学部社会福祉学科の森田久美子教授や元ヤングケアラーの高岡里衣さんからお話を伺った後、各学年代表生徒からの質問や感想発表がありました。

生徒は、「ヤングケアラーとは、子供の権利条約とヤングケアラーについて、ヤングケアラーをサポートする人や機関、自分の将来を描ける学校や社会について」等、多くのことを学びました。

